



藤坂 百恵 (徳島県)



福島 旺 (日本食研トライアスロン部)

第13回 愛南町いやしの郷トライアスロン大会

311人の鉄人と、町中の声援が作った一日。

初夏の爽やかな風が吹き抜けた6月6日(土)、西海地域を舞台に全国24都府県から集った311人の鉄人たちによる熱い闘いが繰り広げられました。開会式で中村維伯町長は「皆さんの勇姿が、地域に元気と感動を与えてくれることを期待しています」と選手たちを熱く鼓舞。号砲とともに、鉄人たちは一斉にスタートを切りました。

本大会は、トライアスロンジャパン公認の、全国屈指の起伏を誇る難関コース。限界に挑む激戦を制したのは、男子・福島旺さん(日本食研)、女子・藤坂百恵さん(徳島県)で、男女ともに連勝記録を伸ばしました。

両選手の圧巻の走り、あきらめずにゴールを目指す全選手の勇姿に、沿道からは惜しめない拍手と歓声が送られました。



出場者数 311人
完走者数 290人

【男子総合部門】
1位: 福島 旺 (日本食研) 1:58:59 (大会新記録・3連覇)
2位: 小林 幸誠 (日本食研) 1:59:46
3位: 丸尾 公貞 (愛媛県) 2:10:11
OPEN参加: 2人(伴走者含む)

【女子総合部門】
1位: 藤坂 百恵 (徳島県) 2:23:13 (4連覇)
2位: 山田 梓 (島根県) 2:31:04
3位: 安田 美里 (愛媛県) 2:38:31

311人が挑んだ51.5 km

START

SWIM 1.5km



1

スイムはフローティングスタートを採用。2分ごと3グループに分けてスタートし、1往復750mのコースを2往復する。



BIKE 40km



2

バイクは10kmのコースを4周。最大標高差約156m。スタート直後から容赦なく襲いかかる急な上り坂を、選手たちはバイクで懸命に駆け上がっていく。



RUN 10km



3

西海トンネルを通り久家地区を回るコースを3周する10kmの道のり。懸命に走り続ける選手らの背中を、地域の声援が後押しする。



FINISH



佐々木一明さんと
伴走の浅井裕史さん



結成7年目を迎えた佐々木一明さんと伴走の浅井裕史さんは今年も南端の地を力走。
お互いを励まし合いながら、スイム・ランともに安定感のある貫禄の走りを見せました。

日野圭子さん

愛南大会に初参加の日野圭子さん。
日野さんは聴覚に障がいがありますが、沿道の声援に笑顔で応えながら、国内屈指の難コースを力強く走り抜きました。



船越小学校児童手作りの完走メダル

船越小学校児童が応援と祝福の気持ちを込めて、一言メッセージ付き完走賞メダルを制作。当日はゴール地点で選手を出迎え、完走者全員にメダルをプレゼントしました。



船越小学校児童の想いを背負い
リベンジを果たした松岡収二さん



昨年のリベンジを誓いスタートした松岡収二さん。船越小児童からの熱い声援を受けながら見事な力走を見せました。
ゴールでは、昨年までの教え子からメダルをかけてもらい、喜びを分かち合いました。



アイナンマン 愛南鉄人も大健闘 ～地元の愛を存分に感じ～

アワードパーティーで喜びを仲間と分かち合う

びやびやカツオや愛南ゴールドなど愛南の幸に舌鼓を打ち、共に戦った仲間と交流するアワードパーティー。出会い・再会に笑顔が溢れ、レースの疲れを感じさせない鉄人たちは来年の再会を誓って熱い一日に幕を下ろしました。



また来年、この場所で

